

不動産のチラシを使った自由研究

名前 センター職員 藤原

研究のきっかけ

住宅のチラシを見たとき、「和室6畳」と「洋室6帖」のように「畳」と「帖」2種類の漢字が使用されていることを疑問に思った。またUBやSBなど多くの略語があることにも興味を持ったので調べてみることにした。

準備したもの

- ・住宅・不動産関係の新聞の折込チラシ
- ・国語辞典 ・マーカー
- ・スマホ等インターネット検索ができるもの

作業の手順

- ①チラシを見てわからない言葉や疑問に思う言葉に線を引く。
- ②線を引いた言葉を辞書やインターネットで調べる。
- ③チラシを貼り付けたワークシートに調べたことを書き込んでいく。

地盤保証とは、地盤業者が行った地盤調査および地盤補強工事が原因となる不同沈下等により建物が損壊した場合、その損壊した建物および地盤の修復工事を保証する仕組みのこと。

シロアリ防除の工事を行った防除業者が、工事後シロアリが再発した場合に再度駆除工事を無料で行う保証のこと。それ以外にも、被害が発生した箇所の修復費用を同時に補償する場合もある。

「帖」と「畳」はちがうの？

1畳は畳(たたみ)1枚分として間取りの広さを表す単位。一般的には1.62㎡(910mm×1820mm)
「帖」は和室と洋室を区別するために使いはじめたとされている。基本的に広さは「畳」と同じ。
※一坪はだいたい畳2枚分の広さ

「南向き」や「南側」ってよくチラシに書いてあるけど何かいいことがあるの？

日本では、南向きの部屋は昼間の長い時間日光が差し込むことが大きな特徴でありメリットになる。南向きの部屋は太陽の光で明るいため、日中は照明を点ける必要がなく、冬場は暖かく過ごしやすいため暖房費が節約できる。南側にベランダや物干しがあれば、洗濯物もよく乾く。また、日光は植物の光合成に欠かせないため、観葉植物やベランダガーデニングが趣味の人にもおすすめ。

「バルコニーから眺めが最高」等、眺望のこともおすすめポイントになるよ。

わかったこと・感想

間取り図に使われる略語をたくさん知ることができた。南向きと表記されていると日当たりが良い印象を持つが、実際は南側に高い建物がある場合もあるので、現地にいってみたいとわからないこともあると感じた。チラシには駅からの近さやスーパーや小学校があることなど様々なキャッチコピーが使用されているが、それらは広告のターゲットに合わせて使用されていて興味深かった。

チラシ等ふだん何気なく見ている物でも、よく見れば発見があるよ！

角地は希少価値が高くて、土地としての魅力が大きい！
間取り図は略語だらけ！

角地とは、交差する2つの道路に接する、角の区画の土地のこと。2方向が道路であるため、開放感があり、採光、通風に優れ、隣家の圧迫感も少ない。資産産性も高い。

LDKとは、リビングとダイニングとキッチンが1部屋にあること。例えば3LDKとは3つの部屋と1つのリビング・ダイニングキッチンで構成されている間取りのこと。

1Rは1室タイプの部屋。1Kはキッチンと住居スペースの2室タイプの部屋。1DKは1Kよりもキッチンが広く設けられている部屋がある2室タイプの部屋。

その他の略語いろいろ
WC(トイレ)
UB(ユニットバス)
CL(クローゼット)
WCL(ウォークインクローゼット)
SB(シューズボックス)
BR(ベッドルーム)
Ent(エントランス=玄関)
RF(ルーフフロア=ロフト)

DNとは、下り階段を表す記号のこと。上り階段はUP。

ロフトとは、天井を高くして部屋の一部を2層式にした上部空間のこと

「ハバイン」じゃなくて「フクイン」！

幅員とは、道路の道幅のこと。建築基準法では、道路の側溝の外側を道路境界とみなして、道路幅員を測る。

